

20150130 環境シンポジウム@市民会館

環境省 3R 推進マイスター・公益財団法人廃棄物・3R 研究財団 ちょう座部長 藤波博

- ・ 泉北環境 国内ナンバー1 (熱回収)
- 1 : 循環型社会づくりの取り組み
- ・ 食品リサイクル法
- ・ ・ 生ごみが一番厄介
- ・ 水分、塩
- ・ 塩は配管の問題。腐食する
- ・ リデュース、リユース、リサイクル
- ・ 熱回収、適正処理 (例: フェニックスなどの最終処分)
- ・ 一般廃棄物の減量化目標 個人 25%
- ・ ものは人間の寿命と同じ
- ・ 一般廃棄物排出量 4480 万トン
- ・ 10 年前は 5400 万トン
- ・ リサイクル率 20.6%
- ・ 目標は他の市町村は関係ない
- ・ それぞれの自治体が決めること
- ・ 処分場は全国的に限界
- ・ セメントに利用する動きある
- ・ 1738 市町村
- ・ ごみの有料化 家庭系は全国で約 6 割実施
- ・ 第一義はごみの減量
- ・ その次は、入ってきたお金を何に使うか
- ・ H21 ⇒ H23 階梯系可燃ごみ 15.6%減
- ・ H25 指定袋経費 11290 万円
- ・ 3568 万円 ごみ袋製作費
- ・ 実質収入
- ・ 地域環境基金で活用
- ・ サーマルリカバリー
- ・ 地球温暖化と原油価格高騰
- ・ ごみ発電等、再生可能エネルギー
- ・ エネルギー回収の取り組みベスト 10
- ・ H24 実績 泉北環境は全国 2 位 594 kwh/t
- ・ H25 全国 1 位に
- ・ 規模は小さくとも効率が良い
- ・ 生ごみの問題

- ・維持管理、プラントの腐食の問題
- ・生ごみの塩分が引き起こす
- ・生ごみについて、食品リサイクル法の精度変わる
- ・食品ロスの国民啓発活動の全国展開
- ・市町村の定める処理計画に位置付け
- ・学校給食も対象に
- ・取り組み事例 ユニー（名古屋）
- ・ごみ袋について
- ・1 Lあたり泉大津は1円 全国平均は1.5から1.7円
- ・よって泉大津は安い
- ・泉大津 家庭系は減っているが、事業系は減ってない
- ・事業系は全国平均よりも高い
- ・事業系一般廃棄物をもう少しリサイクルをしていき、減量を進める施策を